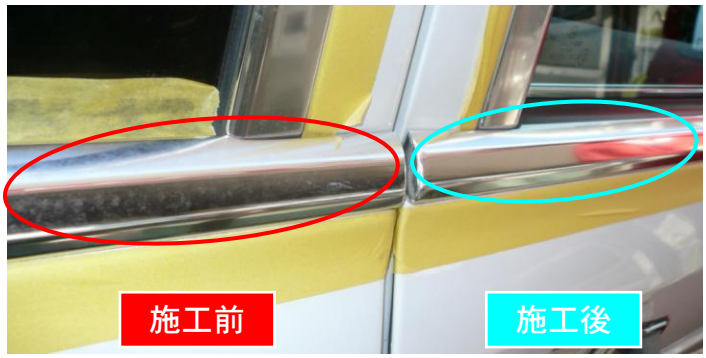
手作業で出来る高収益作業メニュー… それは「メッキモール磨き＆保護コーティング」です!!

メッキモール復活コーティング

Point

劣化したメッキモールを特殊研磨剤で磨きあげ、美しさを取り戻します!

専用のガラスコーティングで保護し、美しさを持続させます!



マスターズセット【約5台分】（品番: MMC-SET3）

販売価格 ¥15,000（税別）

出張施工にも対応できるセット
絶賛発売中!!

＜オプション＞ スポットポリッシャー
U15Aブツカット

販売価格 ¥12,000（税別）

施工料金例

車種例	施工料金（税別）
BMW 3シリーズ ベンツ Cクラス ボルボ V50 VW ゴルフ	¥40,000 ～
BMW 5シリーズ ベンツ Eクラス	¥45,000 ～
BMW 7シリーズ ベンツ Sクラス ボルボ V70	¥50,000 ～

1台施工すればセット代は償却! 残り4台分はすべて収益です!!

15,000 円のセット（5台分）が 40,000 円×5 台＝200,000 円以上の作業工賃に変わります

※ メッキの腐食劣化が激しい場合は、完全に汚れが取れない場合もあります。
※ 施工作業時間の目安は、1台当たり2～4時間です。（モール全長、腐食劣化、汚れの状況により異なります）
※ 施工方法は、YouTube の動画"メッキモール復活コーティング【金属メッキモール磨き＆保護コーティング】施工"でもご覧いただけます。

お問い合わせは

発売元

SANSHIN

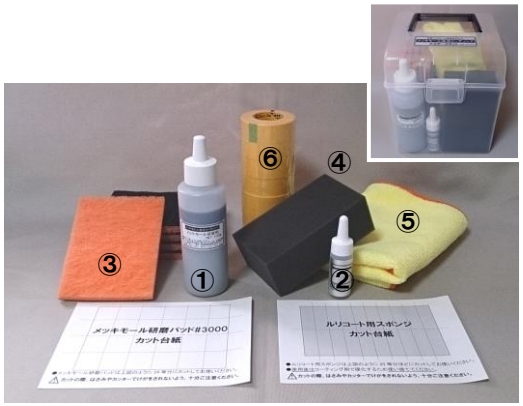
有限会社 サンシンコーポレーション
〒224-0023
神奈川県横浜市都筑区東山田 1-31-13
TEL 045-878-2860 FAX 045-516-4393
http://www.sanshin-web.co.jp/

業務用　金属メッキモール表面再生キット　**メッキモール復活コーティング**

マスターズセット　取扱説明書

［品番　MMC-SET3 ］

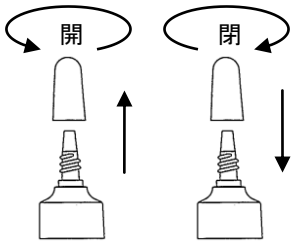
■内容物



①メッキモール研磨剤（100g）　×１
②ルリコート（10g）　×１
③メッキモール研磨パッド#3000　×５
④ルリコート用スポンジ　×１
⑤マイクロファイバークロス YS　×１
⑥マスキングテープ（18mm）　×７
⑦取扱説明書　×１【本紙】

キャップの開け方

コート剤滴下時には、白いキャップの先端部分を下図のように回して開け閉めしてください。（キャップの下部が一緒に回らないように注意してください）



応急処置　［メッキモール研磨剤／ルリコート］

●万一飲み込んだ場合は、無理に吐かせず直ちに医師の診断を受けてください。
●誤って目に入った場合は、直ちに流水で 15 分以上十分に洗浄し、医師の診断を受けてください。
●皮膚に付着した場合は、布等で素早く拭取り、石けん等で十分に洗い流してください。
●使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに使用を中止し、通気の良い所で安静にしてください。気分が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。

保管及び廃棄方法

●子供の手の届かない場所に保管してください。
●液剤は必ず密封し、凍結を避け、直射日光の当たる場所や 40℃以上になるところや 5℃以下になるところには保管しないでください。
●廃棄の際は、地域の法令に従い適切に処理してください。

⚠ 警 告　●液剤は人体に害がありますので、故意に吸入、点眼したり飲まないでください。●目に入ると障害を生じる恐れがありますので十分に注意してください。●皮膚の弱い方はかぶれる恐れがありますので、保護手袋を使用してください。

⚠ 注 意　●用途及び使用方法以外では使用しないでください。●成分の特性上、成分が分離したり、容器がへこむ場合がございますが、品質上問題はありません。液剤はよく振ってから使用してください。●火気のある場所では使用しないでください。●必ず目立たない部分でテストし、問題がないことを確認してから使用してください。●液剤が衣服にかかった場合は、シミになる恐れがありますので、必ず汚れても良い服装で施工してください。汚れた場合は速やかに洗浄してください。●本説明書に記載されている警告、注意事項に従わない場合及び誤った使用をされた場合、また天災やイタズラ等による事故、故障、破損につきましては、当社では一切その責任、保証を負いかねます。●製品の仕様は予告無く変更になる場合があります。

①液　メッキモール研磨剤
●名称　金属メッキモールコンパウンド
●用途　金属メッキモール部汚れ落し研磨
●成分　研磨剤、酸性溶剤
●内容量　100g
◆危険物区分　該当せず（非引火性液体、水溶性）

②液　ルリコート（メッキモールコーティング剤）
●名称　クリア塗料
●用途　多目的保護被膜形成
●成分　オルガノポリシロキサン
●内容量　10g
◆危険物区分　第４類　第３石油類（非水溶性）　危険等級Ⅲ

警告	
引火性注意	**飲用不可** **火気厳禁**

紙：説明書　プラ：容器：PE

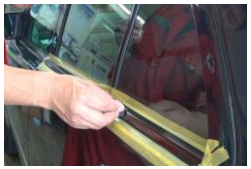
■施工手順　**全ての施工作業は雨風や直射日光を避け、換気の良い屋内で行ってください。**

手順1）前準備

●メッキモール研磨パッド#3000 をカット台紙に合わせてカットしておきます。
●ルリコート用スポンジをカット台紙に合わせてカットしておきます。
●施工するモールとその周辺を水拭きした後、きれいなクロスで乾拭きします。（水洗い洗車しておくのがベストです）
●施工するモールの周囲をマスキングテープ等で養生します。

手順2）研磨　※液剤を使用する直前によく振ってください。10 **分以内で拭き上げてください。**

●モール 20cm に対して研磨剤をカットしたパッドの対角線上（約 2cm）に付け、20cm ほどパッドで研磨剤を塗り広げた後、そのまま**5～8分間放置**します。
●先程使用したパッドに再度数滴研磨剤を垂らし、研磨剤を塗り広げておいたモール部分を 5～10cm 間隔ぐらいずつ擦っていきます。
●研磨作業は**5分以内**で一旦作業を終了し、研磨剤を拭き上げてください。汚れが落ちていないところはこの手順を繰り返して落としてください。
※「U-15A ブツカット」(オプション)を使用すると作業が楽です【裏面ご参照】。



手順3）コーティング　※液剤を使用する直前によく振ってください

●研磨剤がコーティングするモール部分に残らないように丁寧に水拭きした後、乾拭きします。（マスキングし直すのがベストです）
●施工部分が気温と同じぐらいであることを確認します。（手で触れて熱く感じる場合は必ず冷ましてから施工してください）
●モール 50cm に対してカットしたスポンジにルリコートを 2～3 滴垂らし、スポンジでルリコートを伸ばしながら、ムラなく塗り込みます。

手順4）仕上げ　※塗り込みから時間が経ちすぎると拭き取れなくなりムラになるので注意

●コーティング後、2～3 分経過したら乾いたクロス YS で丁寧に拭き上げます。
●マスキングテープを剥がします。
●飛び散った液剤の汚れ等を拭き取ります。**（作業中も都度拭き取ってください）**
※拭き上げ後、1～2 時間（硬化反応時間）常温乾燥させて完成です。 この間、施工部分に触れたり、水を掛けたりしないでください。

⚠【施工上の注意事項】

◆研磨する際は砂ぼこり等の異物が付着しないように注意してください。キズの原因になります。
◆研磨剤を10分以上付着させるとシミになりますのでそれまでに必ず拭き取ってください。
◆研磨しすぎると下地が露出してしまう場合がありますので状況を確認しながら研磨してください。
◆コーティング剤塗布後は、乾燥する前に速やかに拭き上げてください。特に屋外で施工する場合、乾燥時間が早くなりムラになる場合があります。万一ムラになった場合には、パフ掛けによる研磨が必要となります。
◆コーティングに一度使用したスポンジは成分が硬化しますので、破棄してください。
◆コーティング被膜が完全に硬化するには約 1 週間かかります（気象条件等により差はあります）。その間、強い摩擦等が加わるとコーティング被膜に傷が入る場合がありますので、洗車等はしないでください。
◆施工面を研磨剤の入った液剤（光沢復元剤、水垢落とし剤、コンパウンド入りワックス等）や硬いブラシなどで擦らないでください。コーティング被膜が削れてしまい、施工面の保護効果が失われてしまいます。
◆鳥の糞、樹液、殺虫剤などが付着した場合、そのまま放置すると施工面に浸透し、著しく劣化させる可能性がありますので、速やかに洗い流してください。
◆撥水性は少しずつ弱くなってきますがコーティング被膜は残っており徐々に疎水性に変化していきます。走行条件、保管場所や洗車回数等によりますが約 1～3 年間保護効果が持続します。

発売元：　有限会社サンシンコーポレーション
〒224-0023 神奈川県横浜市都筑区東山田 1-31-13　TEL　045-878-2860　FAX　045-516-4393　http://www.sanshin-web.co.jp/

ver. S3-01-04

U－15Aブツカット使用時の施工手順

水滴、風、異物混入を防ぐため、屋内で作業してください。止むを得ず屋外で作業する場合、雨や風の強い日は、仕上りに悪影響を及ぼしますので絶対に避けてください。
研磨しすぎると下地が露出してしまう場合がありますので十分に注意し、状況を確認しながら研磨してください。
その他注意事項がございますので、施工前に必ず裏面の「注意事項」をお読みになり、よくご理解した上で施工してください。

※ 汚れがひどい場合（白いウロコ状の堆積物が多い時）は、手順01から施工を開始してください。

※ 汚れの程度に応じて、施工開始個所を変えてください。ただし、これは経験を要しますので見極めがつかない場合は、手順15から始めてみて、汚れがなかなか取れなければ、ひとつ粗目の番手の手順09から始めるというようにして、汚れの程度と作業開始点（手順01／手順05／手順09／手順15）を見極めることがポイントです。

01 #1500 研磨：準備

■「替えソフトパット」に「トレカットピンク(K-1500)」を貼り、「ブツカット」本体に装着します。

02 #1500 研磨：準備

■紙コップなどに水を入れ、「替えソフトパット」の先端のスポンジ部分まで水に浸けて水分を含ませます。

03 #1500 研磨：研磨

■「ブツカット」のスイッチを入れ、メッキモールに軽くあてた状態でウロコの上部を薄く削るイメージで研磨します。

04 #1500 研磨：研磨後

■研磨中の水膜に白いウロコの削りカスが出なくなったら完了です。**（削りすぎて下地を出さないように要注意）**

05 #2000 研磨：準備

■「替えソフトパット」に「トレカットグリーン(K-2000)」を貼り、「ブツカット」本体に装着します。

06 #2000 研磨：準備

■紙コップなどに水を入れ、「替えソフトパット」の先端のスポンジ部分まで水に浸けて水分を含ませます。

07 #2000 研磨：研磨

■「ブツカット」のスイッチを入れ、メッキモールに軽くあてた状態でウロコの上部を薄く削るイメージで研磨します。

08 #2000 研磨：研磨後

■研磨中の水膜に白いウロコの削りカスが出なくなるか、01から作業している場合は2～3往復したら完了です。

09 #3000 研磨：準備

■「替えハードパット」と「変換パットベース」を用意します。

10 #3000 研磨：準備

■「替えハードパット」に「変換パットベース」を装着します。

11 #3000 研磨：準備

■「変換パットベース」に「スーパーバフレックス(K-3000)」を装着します。

12 #3000 研磨：準備

■紙コップなどに水を入れ、「変換パットベース」のスポンジ部分まで水に浸けて水分を含ませます。

13 #3000 研磨：研磨

■「ブツカット」のスイッチを入れ、メッキモールに軽くあてた状態でウロコの上部を薄く削るイメージで研磨します。

14 #3000 研磨：研磨後

■研磨中の水膜に白いウロコの削りカスが出なくなるか、05から作業している場合は2～3往復したら完了です。

15 研磨剤磨き：準備

■「替えハードパット」に24分割した「メッキモール研磨パッド#3000」を装着します。

16 研磨剤磨き：準備

■「メッキモール研磨パッド#3000」に「メッキモール研磨剤」をよく振った後、数滴付けます。

17 研磨剤磨き：塗付

■パッドで研磨剤を塗付し、万遍なく研磨剤がのるように塗り広げます。

18 研磨剤磨き：放置

■研磨剤を塗り広げた後、そのまま研磨剤中の有効成分が汚れに反応する**5～8分間放置**します。**（時間厳守）**

19 研磨剤磨き：研磨

■「ブツカット」のスイッチを入れ、メッキモールに軽くあてた状態で研磨剤がなくなるまで研磨します。**（目安5分）**

20 研磨剤磨き：研磨後

■1回で汚れが取れない場合、15から繰り返して作業してください。その際は17の次は19に進んでください。

ver. 01-00